

みぶ町政だより



11

月号

昭和49年11月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年9月30日第3種郵便物認可一部、9月



合併20周年記念行う

昭和29年、同30年と2年間にわたり、旧稲葉村そして旧南犬飼村と合併して今年で20年になりました。

これを記念して、11月2日午前10時から中央公民館で多数の来賓者を招いて盛大に式典を行いました。

式典には、知事代理、隣接町長らを招き、まず、佐藤町長の式辞や植竹議長のあいさつに次いで、合併当時に功勞のあった町村長、議長らへ感謝状が贈られました。

受賞者は次のとおり、

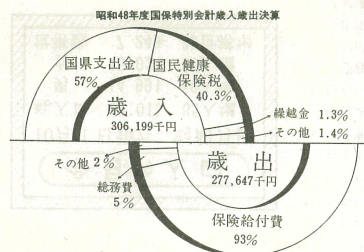
▽松本義氏（元壬生町長）▽鯉沼喜一氏（元稲葉村長）▽故山野雄氏（元南犬飼村長）▽故佐藤鶴七氏（元町長）▽故佐藤定吉氏（元議長）▽清水与之助氏（元議長）▽鈴木武雄氏（元議長）▽故斉藤米吉氏（元議長）

今月の人口

10月1日現在 対前月比

総人口	30,015	85人増
男	14,991	50人増
女	15,024	35人増
世帯数	7,249	35世帯増

12月は“火災予防の月”です(火の始末を完全にしましょう)



四十八年度の決算 ・四特別会計も 健全保持

紙面の都合により、前月号で一般会計のみ、決算状況を公表しましたが、今回は特別会計について見てみましょう。

国保会計

国民健康保険特別会計の決算は歳入では、二億六千九百九十九万四千円、歳出では、支出済額一億七千七百六十四万七千円となりました。歳入歳出の差引額は、一千万八千五百九十九千円となり、これを昭和四十九年度に繰越しました。

公共下水道

公共下水道事業会計			
(歳入)		(歳出)	
科目	予算現額	収入済額	支出済額
事業収入	6,196	8,128	6,069
国庫支出金	5,187	5,187	48,818
繰入金	46,990	46,990	11,010
繰越金	2,807	2,807	284
町債	5,000	5,000	
諸収入	2	79	
合計	66,182	68,191	66,181

上水道

水道事業会計				(支出)			
(収入)		収益的					
区	分	予算額	決算額	区	分	予算額	決算額
水道事業収益		68,284	70,819	水道事業費用		68,284	68,997
営業収益		23,630	25,550	営業費用		40,401	42,456
営業外収益		44,654	45,269	営業外費用		27,883	26,541
				予備費		0	

資本的				(支出)			
区	分	予算額	決算額	区	分	予算額	決算額
資本的収入		69,808 ^(注)	69,808 ^(注)	資本的支出		82,582 ^(注)	82,528 ^(注)
企業債		59,000	59,000	建設改良費		77,242	77,188
資本剰余金		10,808	10,808	企業債償還金		5,340	5,339

区画整理事業			
(歳入)		(歳出)	
科目	予算現額	収入済額	支出済額
歳入	4,000	0	3
繰入金	15,058	15,058	59,043
町債	40,000	0	
合計	59,058	15,058	59,058

歳入は、六千八百八十九万一千円、歳出では六千五百四十一万一千円となり、その差引額二百七十八万四角が黒字となつて、これを昭和四十九年度に繰越しました。

区画整理

区画整理事業は、歳入で一千五

百五十八万八千円、歳出では五百一十八万一千円と予算現額よりはるかに低い数字となりました。これは、国谷地区の区画整理事業が執行を延長したことにあります。

タバコは町内で買います。タバコ消費税がどれほど還元されているか、ご存知でしょうか。昨年一年間で約四千五百二十万円でタバコ消費税と還元された額です。これは町財政の大きな収入源です。タバコは、町内で買って消費税を町へ還元します。



本日、に合併二十周年記念式典を挙げるにあたり、一言挨拶をいたします。本町は合併促進法に基づき昭和二十九年十一月に生町と福村が合併し、更に翌三十七年七月二十八日に南岡村を編入し総人口二万五千五百二十九人の新しい生町が誕生し、今こに二十周年を迎えましたことは、皆

縁とともに喜びに堪えないところであります。今日までの二十年間を振り返りますと、社会、経済、各般の方面に於ける日々とあつたが、地方自治の拡充強化と住民福祉の増進のため、合併促進法が制定された当時の松本善町長、佐藤米吉議長、細野一村長、清水与一助議長、それから今は故人となられた佐藤鶴七町長、佐藤吉議長、山野一雄村長、現町議議員の鈴木武雄議長を始め、当時の議員諸公の教訓に教養と併せて郷土のために、ご精励くださいました町民の皆様方の協力に對し深じんな敬意を表する次第です。合併以来の町長が現れた二功績は枚挙に遑もありませんが特に、地区ごとに組織された農業委員会その他の諸機関の整理、統合、財政の調整など数多くの難問を積極的に解決、また、昭和三十三年全国におおつた未曾有の大干ばつには、卒先してその対策に東奔西走、陣頭指揮をとり、その被害を最少限度にとどめと共に、いわゆる干害応急対策事業として、国より予期以上の助成を獲得し、天災に堪然としている農家

の方々に活を与え、農業を推進させた故佐藤鶴七町長の功績に對し、町財政の安定、助長を図るために、農・工・商の施策に如くない、日、常産業の誘致を始めとして、企業立地を推進その間、町財政に依存することなく、民間資本を巧みに用ゐられて遂に、玩具団地の誘致にも成功した。見る公共下水道を設置し、今日の町の隆昌に寄与された小田垣健一郎町長の将来を洞察するけん眼にもとく大偉業。そして産業の振興町道の整備からと近視眼でみれば、町直営による舗装工事を進めて、教育・土木・福祉を本柱として教育費の多負担の軽減、福業小学校の鉄筋コンクリート校舎の建設、老人憩の家を設立するなど、せん細な点に意を用い、先日町民体育祭の行われた総合運動場の建設にも力に思いをいたし、今日の現実に寄与される等の故佐藤鶴七町長の功勞が町長として、昭和四十四年五月に就任して以来歴々の町長が築いた基盤を石づきに新しい町道の建設に励

合併二十周年記念に当って 壬生町議会議長 植竹武

本日、に生町合併二十周年記念式典を催すに際し、本町議会を代表して、ご挨拶を申し上げます。合併二十周年を迎えるにあたり、総審議抑制のきびい経済情勢をいへます。本町人口は二万人を擁し、全人口平均額も千数億円という内切つての大きな町に成長した。これほどに在る諸公の方々のたいひを基盤として、地方自治のすぐれた見識の賜ものであります。こに厚くお礼を申し上げます。本町議会、住民福祉の増進のため身の努力を致すものであります。本町に、に感謝状を受けられた各位には今後益々ご自愛、ご自重の上、一層の活躍を祈り、また物故された方には、ご冥福を祈念いたしましてご挨拶いたします。

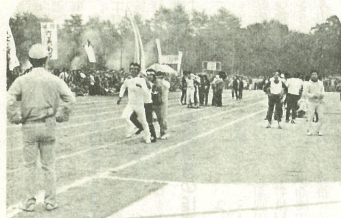
合併二十周年記念に当って 壬生町議会議長 植竹武



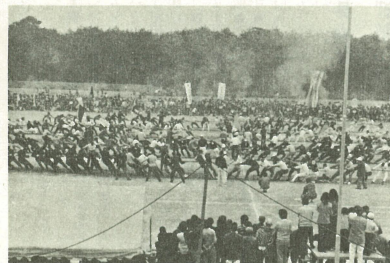
こどもたちに人気を集めた玩具団地の仮装行列。



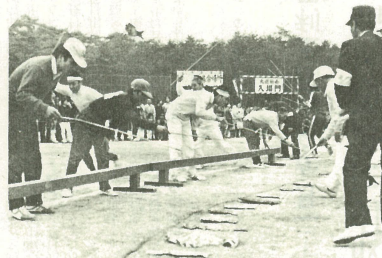
「町内対抗リレー」
小学生から中学生にバトンタッチ。



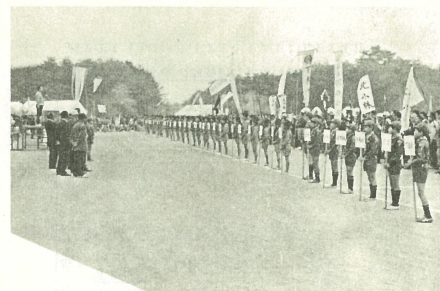
青年団の百足競走
右、左、右、左……



町内対抗の綱引き
綱が切れればかりの力入り



「鯉つり競争」
大きい鯉をねらって……



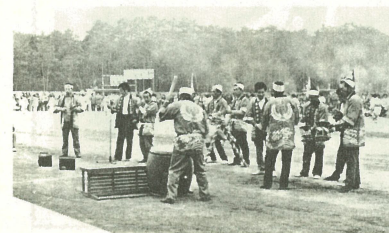
「開会式」42チームが整列する中で佐藤町長があいさつ。



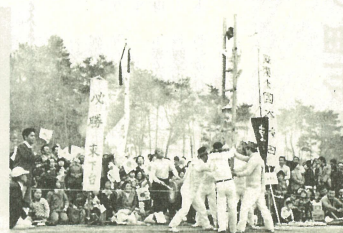
「紅白玉入れ」
お母さんカンパッチー



「青年団競走」
足を合せて……



「新壬生音頭」でにぎわう藤井のお囃子団



観衆をわきたてる東下台応援団

合併20周年記念

優勝は上田 準優勝は城南

十一月二日「文化の日」早朝から花火を合図に開会式が始まった。この体育祭は、町合併二十周年記念および総合運動場建設記念として盛大に行われました。前回の昭和四十七年十月の時の三十五チームから今回は、四十二チームと七チームが増え、ほとんどの町内が参加しました。競走は、百メートル競走に始まり、女子の紅白玉入れ、男子の綱引き、鯉つり競走、休みにには、郷土助役の作詞による「新壬生音頭」が披露され、婦人会の人々は、あまの山の手踊りで大きな輪ができた。競走の中でも、体育祭のフィナーレである町内対抗リレーは、観衆の応援に聞まれ一段と盛り上がった。競走がスムーズに進み、閉会式は予定時刻より若干おくれて行われ、それでもはやかな大会の幕が閉じられました。

以下省略																																			総合得点表									
35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1										
位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位									
助	上	ひばりヶ	下	至	安	国	中	中	上	中	下	上	上	上	王	城	万	榮	羽	東	生	谷	北	六	三	七	西	城	今	下	下	下	下	上	上									
新	谷	町	丘	横	塚	谷	表	表	表	表	表	表	表	表	下	東	生	下	台	谷	谷	林	南	好	好	石	野	井	表	表	表	表	表	表	表									
二	八	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九								
点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点								

総合得点表

稲小へ自転車を寄贈



壬生町交通安全協会、稲小武会
長では、十一月十八日稲葉小学
校へ、子ども用の自転車二十台を寄
贈しました。
稲葉小では、同日前十時から
全生徒集めて、その伝達式が行
われ、生徒たちはお喜びでした
会長から、この自転車で交通ル
ールをよ、先生から教わって、交
通事故にあわないようにしてくだ
さいといふことされました。
先生の話しでは、今まで同校に
は、子ども用の自転車は一台もな
かった。
教えることも教えるようになつた
が、今度も贈られたので、交
通安全の教育時間には、自転車の
乗り方や交通ルールなど十分教え
られます。と先生はじめ、生徒た
ちも交通安全協会に対し、深く感
謝しておりました。

栄納税組合が 表彰受る

栄納の栄納税組合、細谷信組合
長では、国民年功制度発足以来
国民年功に対し、深く理解され
また、常に国民年功保険料の収納
率が百パーセント云々良い成績
であり、十一月一日県庁に
おいて社会保険局長官から功労者
として表彰されました。
この組合は、五十戸が組合員と
なり、率先して収納する云々模
範的な組合組織になつています。
工事の検査などを行い使用者が
納得した上で使用料金を納
付していただく事務を行つてい
ます。

北小林が優勝 町内対抗野球大会



至宝町で
献血会が発足
至宝町自治会は、相互互助の
精神にもとづき献血制度の推進に
協力するとともに、献血すること
によって健全な血液を確保し
ようと、このほど、献血会が
発足しました。
この会には、百二十名の会員が
おり、十一月十七日に第一回の
献血が至宝町民館で実施されま
した。
会では、今後毎年一回献血する
よう推進しています。

各課紹介

下水道管理事務所と云ふまき
なれない、職場がおもしろい
の東の端に建設されて十年にな
りました。
最近、町の「施設めぐり」
を利用して見学にくる方が多
くなりましたが、こんなところ
に、こんな施設があり私たちが
直接関係のある汚れたものを
きれいにするところがあるとは思
わなかつたと驚いています。
県内でも現在宇都市、日光
市、そして私たちの壬生町にし
かない施設です。

下水道管理事務所

ここでは町をきれいにするた
めの下水道関係とみなさんの家
庭などから、バキューム車で汲取
つてきた一尿を処理する一つの
機能をもった仕事を量産体みな
く行つています。
下水道関係は現在おもしろの
まの周辺、独逸隊大を各地域
で下水道が整備し、水を使つて
排水は地下埋設管により終末
処理場へ流れてきます。それを
化学的に処理して良質な水を委
川に排します。
それに伴う排水設備の確認や

南犬飼中が初優勝



第二回関東青少年野球大会は、
十一月一日、埼玉県大宮球場で
各県の激しい予選をくぐり抜けて
きたチームが参加し、南犬飼中が
三試合全勝、ふたつ優勝しま
した。
この日は、寒さも厳しい天候で
あったが、選手たちの好プレーが
詰めた観客のさかんな拍手で
熱が入り、決勝戦では、茨城県の
下館南栄と戦い、熱戦が展開され
て、その結果四対〇で南犬飼中が
優勝しました。

スポーツ振興で 上野高明氏が表彰

関東体育指導員協議会では、
城内の上野高明氏が永年にわたる
スポーツ振興に多大の貢献をなさ
れたとして表彰されました。

人権擁護委員 が再任

大俣武氏（長田）
木村 公通氏（表町）
中里 徳博氏（下宿葉）
塩沢 自氏（仲通町）
この四氏は、昭和四十九年十月
一日付をもって、法務省大臣から委
嘱され、今後二年間人権擁護委員
として、活躍されます。
この人権擁護委員は、地域住民
の中から、人格高く、広く、
社会の事情に通じ、人権擁護に
ついて理解のある適者を市町村長
が推薦し、法務大臣が委嘱した
人がなっています。

委員の仕事は、それぞれの地域 の人々の人権が犯されることのない ように監視し、もし侵害された ときは、法務局と緊密に連絡をし とり、すみやかにその仕事を調査 し、必要な救済の手段をとること になっています。

町では、毎日行っている「心配
ごと相談」と併せて毎月第一火曜
日の午前十時から午後二時まで、
役場本庁日本間で、法務局の係官
と人権擁護委員の合同で相談応
じています。
相談ごとは、いずれも無料で秘
密を守り、手数料も必要なく無料
ですので安心してお気軽にご利用
ください。

鹿犬引き取り日

いらない犬は、はなさないで鹿
犬引き取り日に出してください。
〇日 種 十月十一日（水）
〇場所 および時間
役場本庁 九時まで
南犬飼支所 九時十五分まで
稲葉支所 九時二十分まで

スキー部会員募集

壬生町体育会スキー部では、
次のように昭和五十年度の会員を
募集しております。
年会金は、壬生町に住んでいる人
で年令に制限はありません。

病気のいろいろ その三

独協医科大学病院 気管食道科教授 日野原正

気管と食道は、人間が生きて
いくために大切な空気の通り道
と通るところで、重要な部位です
気管食道科は、これらの気管
や食道の病気をとり、声
を出す喉頭の病気を取り、専
門の科で、独協医科大学に初め
て新設しました。
声がかれる、のどがゼゼイ
する、呼吸が苦しい、血痰が出
る、食物が通りにくくなった
症状や、お水を飲み込んだり、
豆類を気管に吸い込んだり、声
常にボリボリとあるといわれた
時には、来院してください。
また、交通事故など、頭部を
損傷したり喉頭外傷、くびに
腫瘍がふさがる時、気管食道科
を受診ください。
喉頭がんは、声帯にできた
のは声に異常がきますので、し
やがれ声や声がこらえたりする
ときは、がをこらえたりする
えないで精検査が必要でさ
い。



優勝した北小林チーム

お知らせ



成人式該当者は

来年の一月十五日に成人式が行われることになりましたが、今度満二十歳になった方は次のことにご注意ください。

- 一、該當者は、昭和二十九年四月一日から昭和三十年四月一日までに生れた方。
- 二、該當者の基礎調査を自治会長さんを通じて調査をしていたのだが、きまらずの、満二十歳になつた方は、必ず確認してください。
- 三、壬生町出身で町外に住んでいる人でも希望すれば参加することが出来ます。

善意銀行

立正佼成会王生法座所一同では
金七、八九三円を慈善事業に使用

12月の納税
お忘れなく
国定資産税 第3期分
国保税 第6期分

(年末のため25日まで
に納めてください。)

免許更新時講習

また、社会福祉のために、使つてくだされいと、七ツ石の三上英夫さんが金二万円を寄付されました。このお金は、英夫さんの母キチさんが亡くなったときの香料の一部を寄付されたものです。

十二月の日程は、次のとおりで

- 十二日(休) 二十三日(月)
場所 中央公民館
時間 いずれも午前十時から

母子健康相談

- ◇とき 十一月六日(金)
" 十三日(金)
" 二十日(金)
時間は、いずれも十時
から二時まで
- ◇該当地区 千生地区 南大飼地
区の満 歳未満の赤
ちゃんです。
- ◇ところ 中央公民館

当番医師のお知らせ

十二月の日曜は、次の医師以外は全部休診になります。

◎当番医師の往診はできません。

日	町名	医	電	話
一 日	舟 町	早 川 医 院	0 2 1 0	
八 日	上 通 町	小 倉 (光) 医 院	0 0 5 7	
十 五 日	安 塚	島 田 医 院	0 0 1 1	
二 十 二 日	仲 通 町	木 村 医 院	0 0 5 6	
二 十 九 日	上 稻 葉	渡 辺 医 院	0 2 4 2	

三月児検診

- ◇とき 十二月十八日(木)
午後一時二十分から
八月二十日から九月十
◇該当者 九月までに生まれたお
子さん。
◇ところ 中央公民館日本間
(母子健康手帖を持参するこ
と。)

一般健康相談

成人、老人、その他の健康相談についてお気軽にお出かけください。

妊婦検診

- ◆とき 十二月九日(月)
午後一時から
◆ところ 母子健康センター
◆該当者 壬生町に居住する全妊婦の方

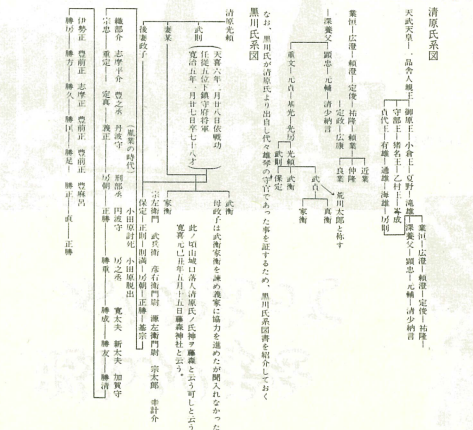
壬生町の鎮守

雄琴神社 (六)

一品名人親は、千町町雄琴神社の祭神として町民篤信の鎮守に祀られていて、京都市目黒区深草島居町の雄琴神社にも大神として祀られていて、

親の産孫夏野の大納言有木太臣に因り、金養寺に遷述し、内東寺に改訂し、金養寺に遷述し、

学名あり、後徳川家養父は安中町に歌歌て、六十六の、人、元輔は歌歌て親雲上の五郎の、人、清少納言にも後裔である。



“お知らせ”がおくれますから早く配布しましょう。